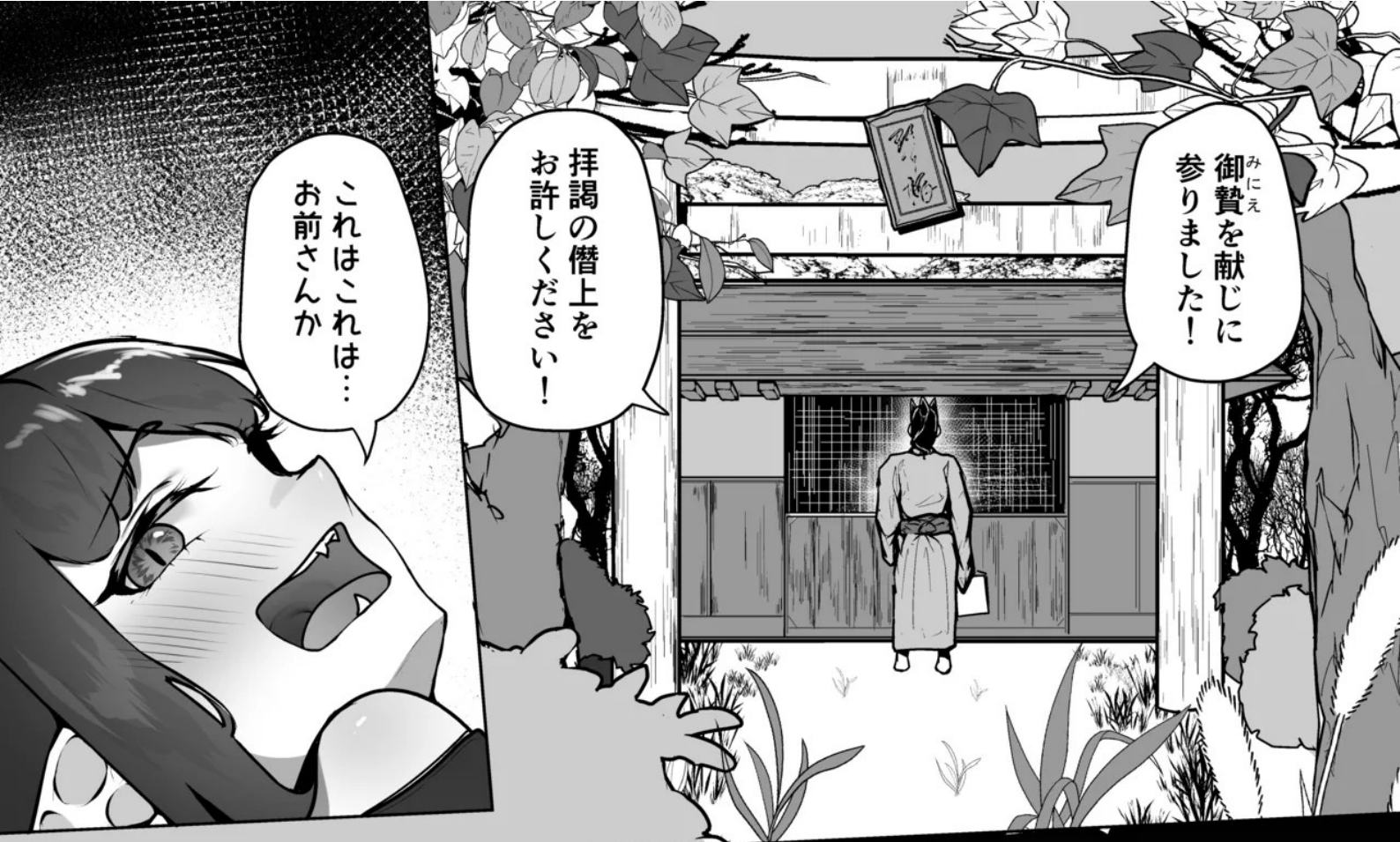






これはこれは…
お前さんか

拝謁の僭上を
お許しください！

みにえ
御贄を献じに
参りました！



うむ

苦しゅうないぞ





いやいや...己は何に
興奮してるんだよ





やはり童の
神通力は
健在じゃな！



お前さんが貰いだ
この一張羅も
実によく馴染むし…



まあ神様が
喜んでるなら
いいか…



じゃがたまには
勤勉な下僕にも
褒美を取らせねば

のう？

いっ!?

そ、それは…







あーもう
なんなんじゃ！

なんであやつは
童を拒むんじゃ



奴とてちよいと
イジればあの通り…

本心じゃやりたいと
思っておろうに…



んっ…♡









めちやくちや
やりたい…ッ!

くね♡

ニヤッ

はっ

ムッ

ムッ

くね♡



あの小さい肉体に
命を握られて…

やめて…ッ

口では拒んでも
カラダ
肉体は正直じゃぞ♡

筋金入りの色惚けめ…♡
ヘンタイ

うっ…

オロオロ





ちがう！

オレ己があんな幼女と色情を催すような変態のはずがない！

オレ己は真人間…真人間なんだ！

一体どうしてこうなった…



結局あの日…
オレ己は“神様”に搾りとられて

無一文で下山したところを



お連れしました

うむ…



放してくれッ



若様…こんなところに

なッ

捜しましたぞ



またぞろ家^{うち}から
逃げやがったな
テメエ自分の立場が
分かってんのかッ!?

問答
無用ッ!

もっ、申し訳
ございません



うっ…

さすけ
佐助よ、貴様は
ぬくい
温井家の跡取り
なのだぞ…

ケホ

ケホ

しかしお祖父様…
僕には無理ですよ



温井の家名は
重すぎます

黙って
言うことを
聞けッ!

はい…申し訳
ありません…

世の中には
望むと望まぬと
変わらぬこともある

そもそも
お前はだな…





……で、最後に女

お前は女にこそ
溺れなかったが
そこだけは絶対に
踏み外すでないぞ

はい…

それで何の話
だったか…
ああそうだ…

今度という今度は
家を抜け出そう
とは思うまいな？

はい…すべて
仰る通りに…



結局観念して
当主の名代を
務めはじめ…

そんな時
だった…

まさに棚から牡丹餅

昔の己^{オレ}だったら
博打の種銭に
していたところ

それが何を
血迷ったか



若様
ようお戻りに
なられて

ささっ

え？ いや
こんな
高価なもの



そう
云わんで
くだせえ

しかし





貴様最近どこを
ほったき歩いて
いやがるッ

遊興に耽る暇なぞ
ないのだぞッ

稽古事にッ

ッ…!

政務にッ



真つ当に生きる
気は無いのか
この役立たずッ

まあまあ
御館様…

また坊ちゃんが
出奔なさいますよ…

うるさいっ!

儼に指図するな!

ハア…

ハア…

落ち着き
なすって

グッ…





据え膳食わめは男の恥
と習わなかったんかえ

でかい図体で
うじうじしよって

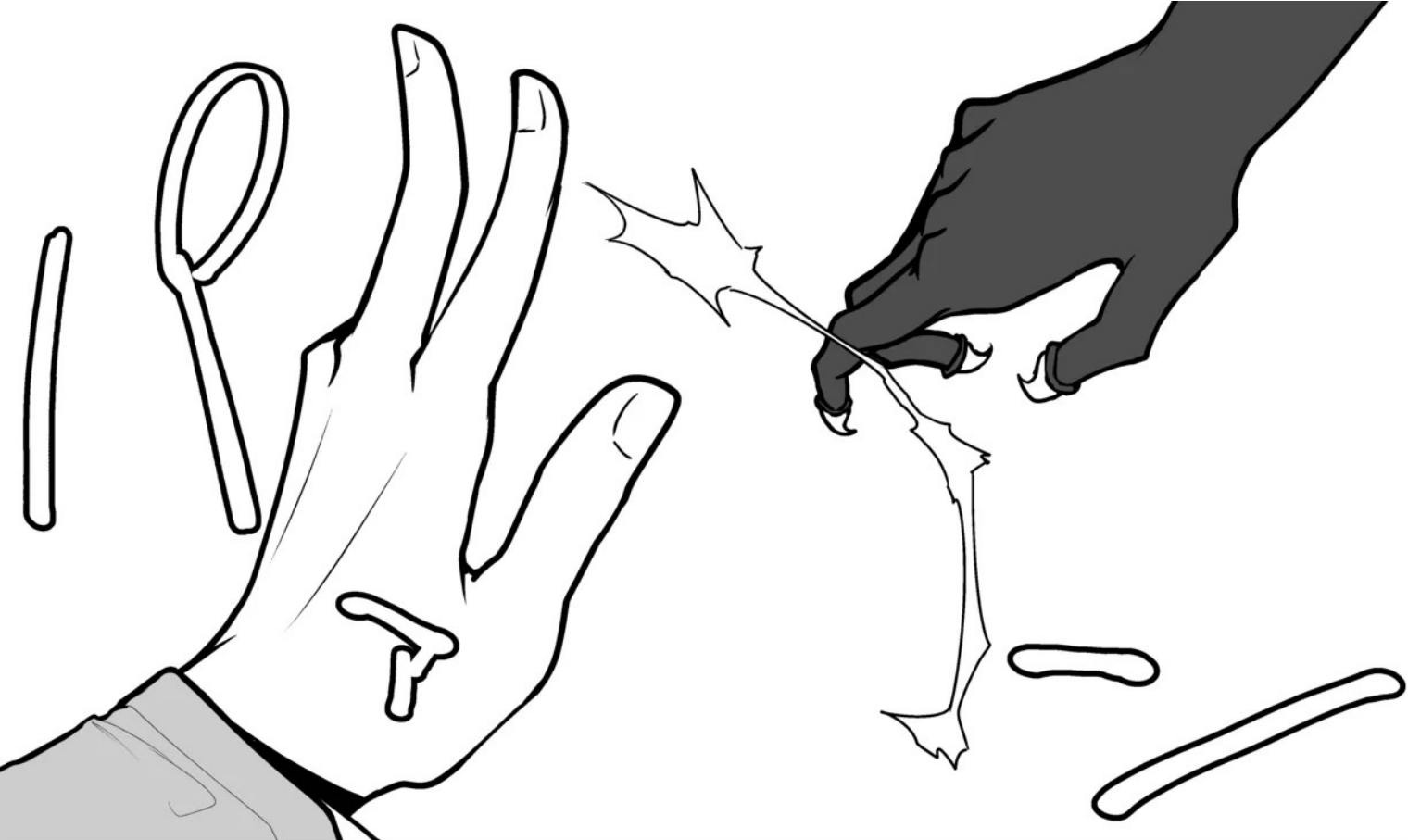
ぬおっ



どうせ浮世では
役立たずじゃろうて



貴様なぞ黙って
犯されておれば
ええんじゃ♡





や、やめて…



じゃから大人に
欲情できぬし

じゃから
家族にも
愛されぬし



真っ当な人間になぞ
なれっこないわい♡



元よりこんな肉体に
からだ
欲情する色惚けじゃろ

嗚呼…わかったぞえ

きっと貴様は
畜生でも
孕ませてデキた
おとしこ
落胤なんじゃよ



そこまで
云わなくても
いいでしょッ

どうしようもない
人間だつてのは

己が^{オレ}一番
わかつてますよッ

えっ? いや...

そんな怒るとは
思わなくて...



だいたい神様だつて
こんな山奥の
誰も詣でない
廃たれた神社で

忘れ去られてる
じゃないですかッ

おかしいでしょ!



わ、童は...

ううっ...



ほんとうは
大昔退治された
化け物だつたり
するんじゃない
ですかッ

なッ



じゃあ出ていけばよからう！

そんなに厭ならっ…

こんなところ
来なければ
よいではないか…



うっ…



云われなくとも
そうしますよッ！

まっどくれ！



いかんどくれ…

ちがうのじゃ…



祖父が死んだ



屋敷を喉に
詰まらせたらしい



あっけない最期だ

葬儀と併せて
家督継承の儀が
速やかに執られた



本当にここまで
せねばならぬのか？

もう今日だけで
何個目の式になる

佐助様は
先代と比して
威に欠けますに

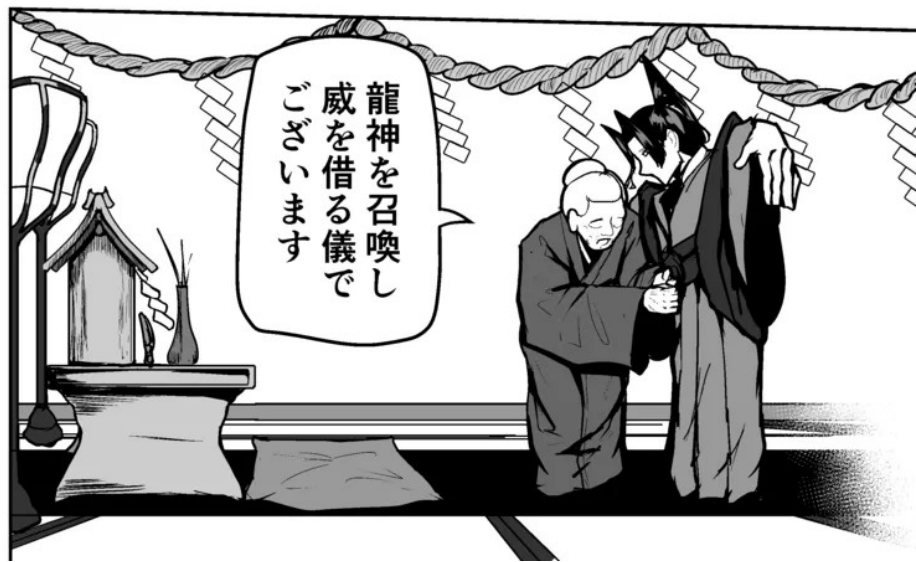
埃のかぶった式も
せにやならんです

これも温井家のためと
堪忍してつかあさい

して、これは
一体なんだ



龍神を召喚し
威を借る儀で
ございます



いまなんと？



グビッ



ささっ…
ぐびっと



ただの真似事
ですんに…

わらべ
童みたいに
怯えんで
よろしおす

わ、分かって
いるとも



まったく
その通りだな…



これにて
相承の儀は
終いです

したらばほんに
ご利益があるや
しれませんね



なんといても
あすこ
神社は坊ちゃん…

いえ…殿様の
お気に入りだ
ござんしたんに

ああ…



人間よ…

わらわ
童を喚んだな…



って…
なんじゃ
お前さんか

か、神様!?

まさか…!!
儀式は本当
だったのか!?

すぐ片すんで
お入りなすって
ください

ん?おう



無礼を避けようと
咄嗟に招き入れたが

……。

……。

き、気まずい……

えーっと……その……
外^{そと}界に出られたんですね

少しだけなら
元からのう……

じゃが今回は
貴様の所為じゃ！

うっ……

なんで童^{わらわ}が人間に
口寄せで喚ばれにや
ならんのじゃ……

新当主の権威^{はく}つけに
御呪^{おまじな}いのつもりで……
それがまさか
本当に効くとは

愕^{おどろ}きましたよ

それは童^{せりふ}の科白^{せりふ}じゃ

お前さんが
ここまでの
御曹司とはのう

一國一城の主
ではないか

たはは……
何様だって
話ですよね



あーつと…
ここからなら
あの神社も
見えるんですよ

実は知って
おったり…

それはどうも…

たしかにこの絶景を
独り占めするのは
うらやましいのう…



えっあー…
そ、そうなん
ですね…

それって
つまり…

お前さんを
捜しておったから…



神様のほうは
こんなにも
歩み寄って
くれているのに

己は…
己は…
己は…

いや…
なんじゃそのお…

童も時折
鳥居へ昇っては



ふーん…



どんな償いも…とな？

はい…



そうさなあ…



申し訳ありませんでしたッ！

神人の立場も弁えぬ
不行跡を働いた上

御身を私邸へ
召喚する狼藉…



どんな償いでも
致します…！！



どうぞ…ッ
お好きに

踏んで…っ
ください



ぐっ…



かっ♡

神様…っ

そんなに童と仲直り
したいんじゃの♡



よし

では舐めよ♡

!?



ではまず童を脱がせよ♡

えっ！

いえ喜んで…



うむ…♡

相変わらず
綺麗な肉体だ…
からだ



すっきりじゃ
すっきり♡

はり





ちよっ…♡



もうっ♡

がっつき
すぎ…♡

あッ♡





ハアハア...

神様っ
神様っ

だめえっ♡

広げちゃあっ♡

イ...ッ





この狗め…



ハア…

ハア…

貴様もびしょ濡れ
ではないか…

おまけに股ぐらが
えらく膨れて
苦しそうだぞ♡

あ、ああ…
干さないと

かほっ

ギ
ニ



そりゃあ洗濯は
大事よなあ…？

じゃがその腫れは
どうしたものか…

乾かす間にどこか
落ち着ける場所が
あればのう…？





一気に...ッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ



きつつ…

いや…
それだけ
じゃない

んっ…♡

んう…♡

神様の幼脰が
探ってきてる

巢穴から顔を
こっそり伺う
獣のように

ゆっくりとキてる…ッ

このすぐ下で！

んっ…♡



あっいやっ
もう充分
ほぐれて
おるからっ

ハア

ハア

えっと…次は…

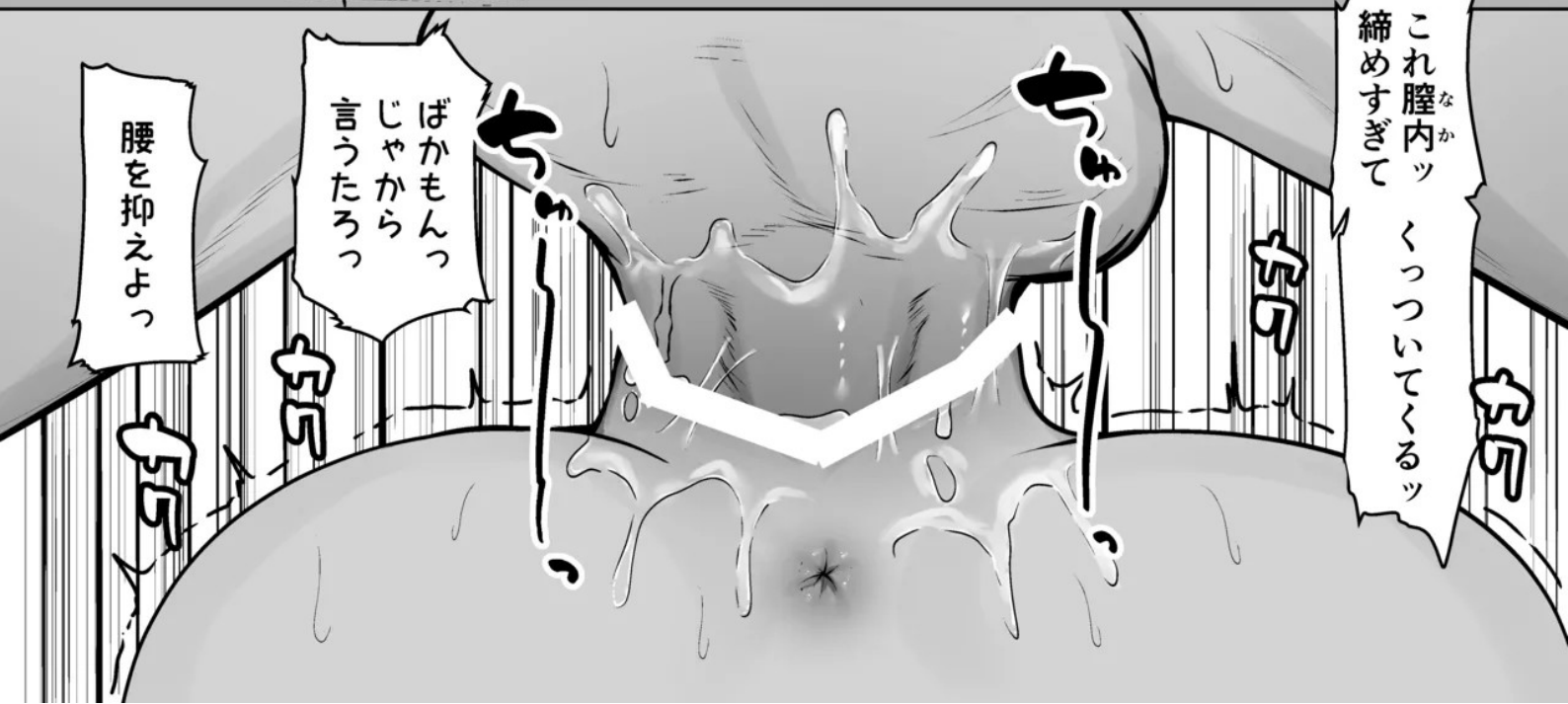
“子宮まで
挿入したら
ゆっくりと
かき回して…”

じゃから
そこはも

ずち

ずち

ずち



これ膣内ツ
くつついてくるッ
締めすぎて

ばかもんっ
じゃから
言うたろっ

腰を抑えよっ

ずち

ずち

ずち





そう云うと
己がそそられるとッ
分かっていて
挑発してるんでしょッ

その通りであらう♡



くそっ！
それだ！
男をくすぐる
言葉遣いも

その焦った
目つきもッ



好きで神様を
遠ざけたと
思うのかッ

その逆だッ！



戻れなくなるって
分かっていただけ

こんなにも繊細に
なってるんでしょッ



厭^{ひと}な女^{ひと}だったら
ずっと楽だったのに

神様は本心が
わからないから…

童の本心…?
お前さんそこまで…

はあ…まったく
世話のかかる
男じゃ…



愛してます…



愛してますッ



己も愛してます…



教えたじゃろ

肉体の言葉は
肉体でしか
語り得ぬ、と

気づくのが
遅いわ…♡



はじめから
こうしておれば
よかったんじゃよ

それなのに
ずっと
独り相撲を…

じゃがもう
ふたりを阻む壁は
なにもない…♡



くだらぬ些事なぞ
なにもかも忘れて

戻れなくなつて
しまおうぞ…♡



神様ッ…

いまままで
ごめんなさいッ

やさしさを
無碍にして

ごめんなさい…

ごめんなさい…

ええんじゃ♡

なにもかも…っ
もうええんじゃ♡



童のほうこそ
ひどいことを
申した…っ

人様に迷惑ばかり
かけているクズで
役立たずの…っ

ずっと童のそばに
いてくれたじゃろっ

いいんですっ…

すべて本当の
ことですからッ

はあ

はあ

クズでも…っ
役立たずでもっ

童はそれで充分じゃ♡

お前が何者かなど
どうでもよいっ

もうどこへゆくなっ
ずっとそばにおれ♡



んっ♡

んっ♡

己も神様の
身の上なんてッ

どうでもいいッ





愛してますッ

神様...もうッ

愛してるんですッ

童もお...っ
愛しとる♡

うんっ♡















さつき射精したのが
とどめなく
溢れてくる…



かべ
膣壁のほうも
舌なめずりが
容赦ない…ッ

油断したら
すぐにイク…ッ

適当に気を
紛らわせないと…

とぐろを巻かれて
搾り取られたのも
今やいい思い出ですね

あ、あのときは
お前さんが
悪いんじゃないっ

こんなぶつとい雁^{カリ}を
擦りつけられたら…
我を失っても仕方ない

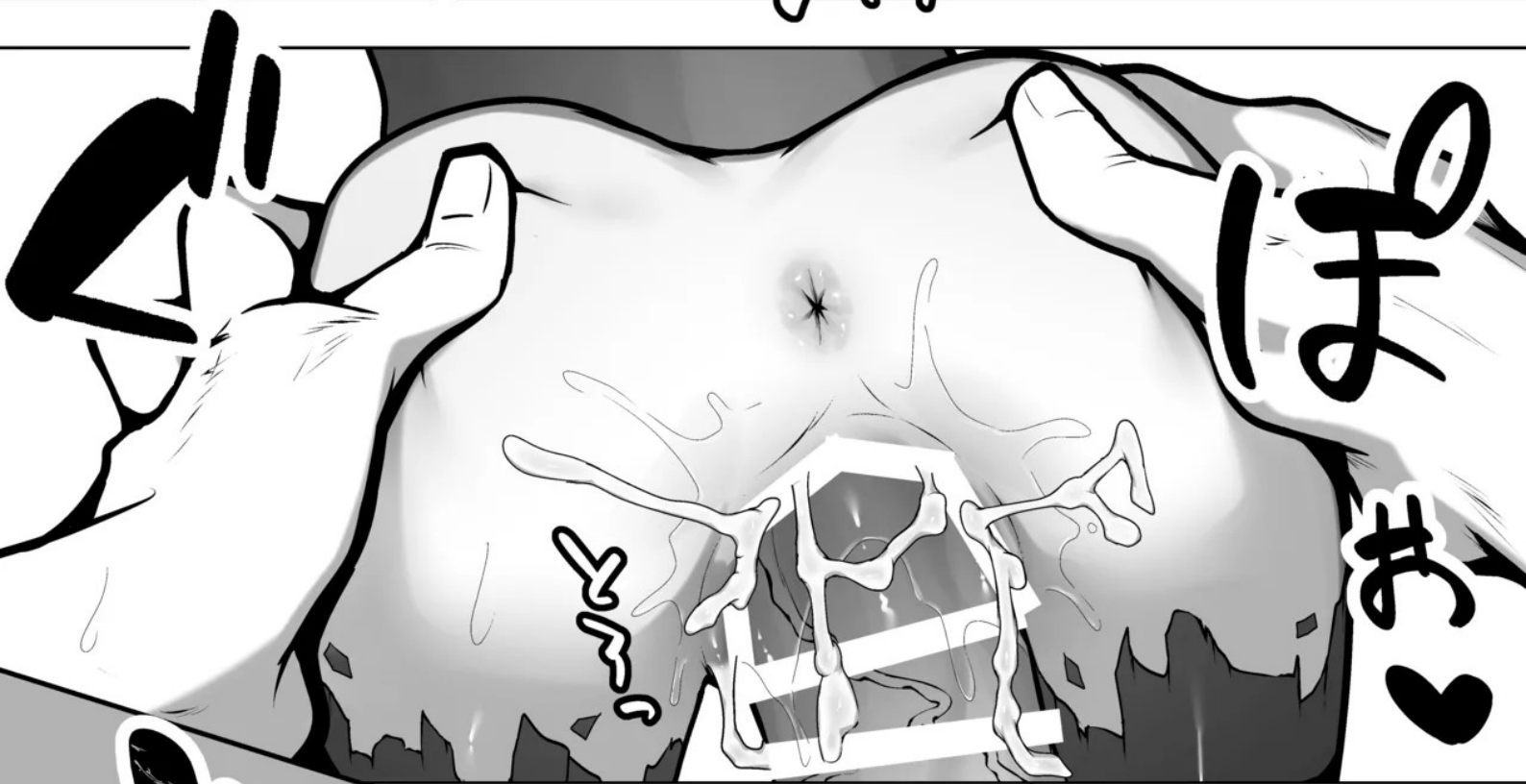
膣^{なか}内でおつきく
なるなあ…ツ♡

ここまで
求められて
昂ぶらない男は
いませんって

神様こそ、こんなに
締めないで…ツ

無理い…っ♡







あの日あのとときと
おなじ体位でッ

頭ん中まで真っ白にッ
塗り替えてやるッ

ぱんッ

ぱんッ

ぱんッ

もうッ

わかったあ♡

もうあのとときと
おなじぐらい
イってるからあ♡
これ以上はもう…
堪忍しとくれっ♡

トドメ
射精が…
まだッ







神様ッ

ほえっ？

んっ♡

おなか
子宮たぶたぶっ♡

びゅーびゅー
ながすぎ…♡

言ったでしょうッ！
塗り替えるって…うっ

最後の…ッ

一滴までッ！







いや…別に不満が
あったとかじゃ…
本当なんだろう…

なのにまだ
ガチガチ
なんじゃが？



死ぬほど
射精た…ッ



童にはよく
わかるぞえ…♡

わかるって
な、なにが…



本当はぐちゃぐちゃに
犯されたいんじやろ♡

玩具みたいに
弄ばれて♡

精魂尽きるまで
搾り取られて♡

ん…ッ!!

ええよ♡
いっぱい
虐めてやろう♡



こんなに尻を叩きよって♡

あっ…



この色惚けばかちゃんぽめ♡

おりに幼腫に閉じ込めて可愛がってやる♡



待って…ッ

いや
淫乱らしいの♡

もうすっかり
からだ
肉体が馴染んで

うう…っ

お
子宮まで難なく
は
挿入ってきよるぞ♡

カハッ…♡

情けない顔じゃ♡

ぐちゃぐちゃに
お
捕食されるのは
これからじゃのに…♡





じゃがそれだけでは
分からぬのう…？

え!? いや…
そのお…ッ

お、犯してほしい…ッ

よく聞こえ
なんだなあ？

もっとはっきりと
云うてくれぬと♡

神様にッ

だからッ
その…ッ



爪や牙を立てて
貪り喰うように
搾り取って
ほしいです…ッ

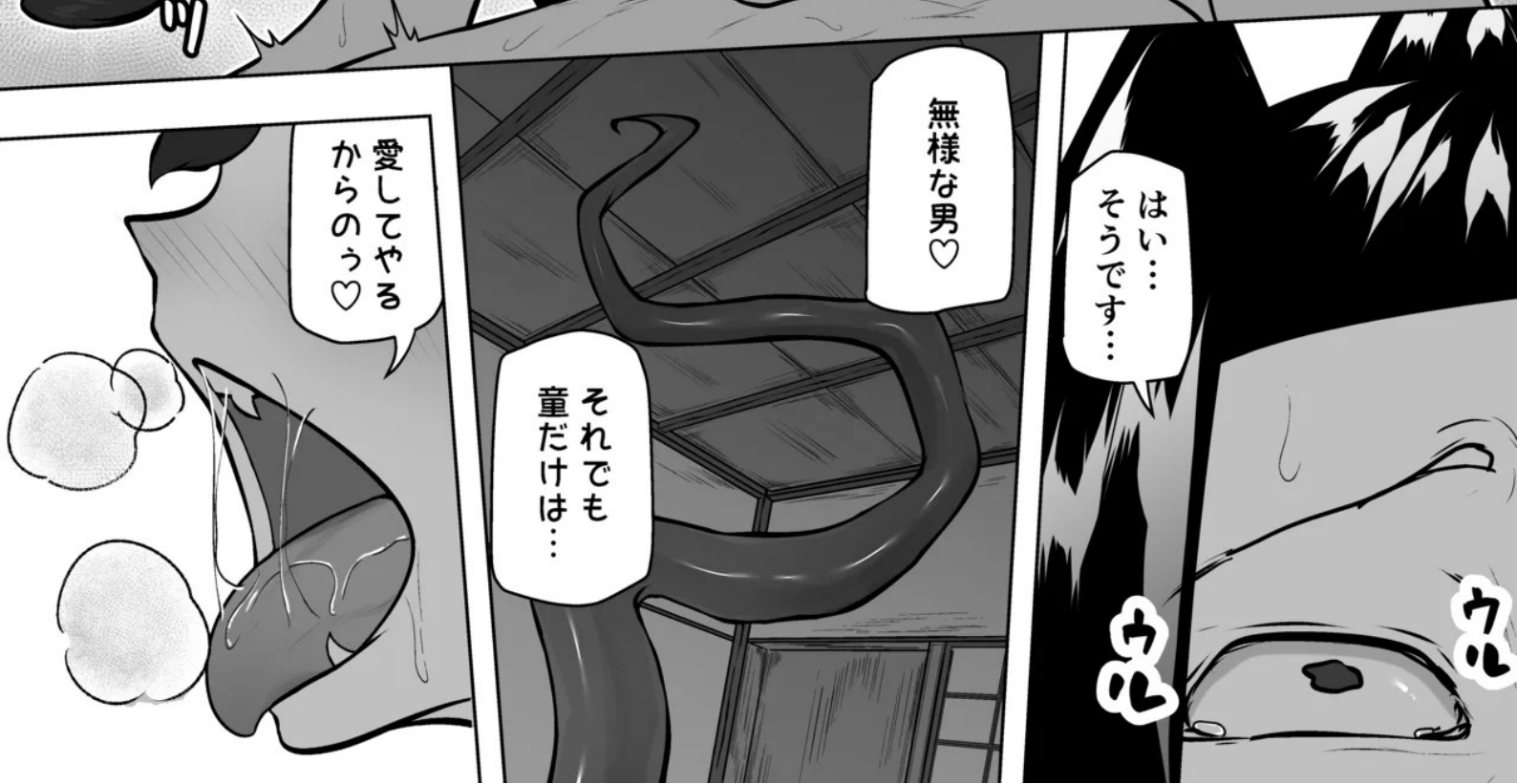
あーあ…♡

やはり童の
言うた通り…



貴様は犯されて悦^よ楽^がる
真性の色狂^{へんたい}いじゃ♡

ビ
ン



はい…
そうです…

ウ
ン

無様な男♡

それでも
童だけは…

愛してやる
からの♡



じゃから
安心して
往生せい♡



キヒヒ...

いっしょ

城が崩れるほど
イギ跳ねても

わらわ 童なら容易く
組み伏せようぞ♡

神様の膂力で...
押さえつけ...?

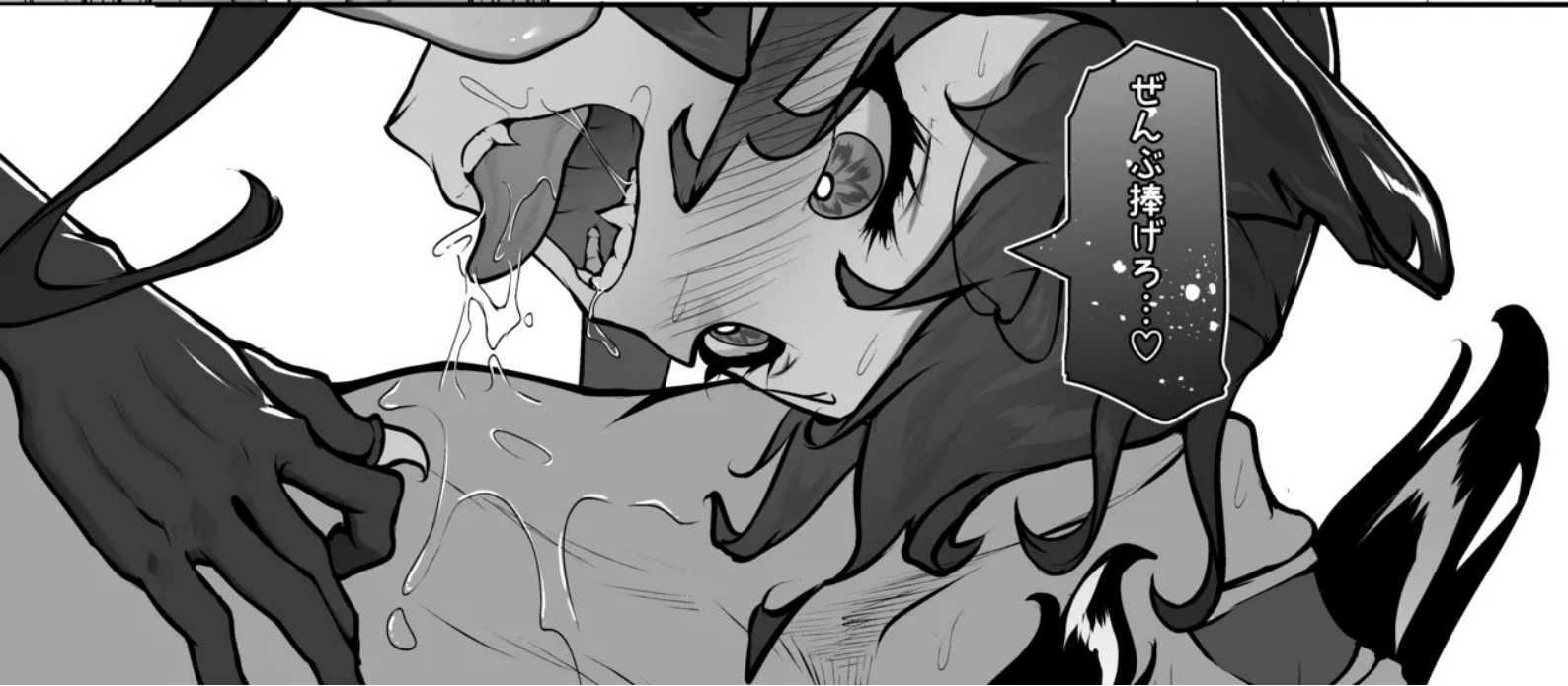


んっッ!?

ガチャン!!
ガチャン!!









いまのを...もっと
...してくださーい

.....!!

神様の玩具^{モノ}だって
分かせてください...

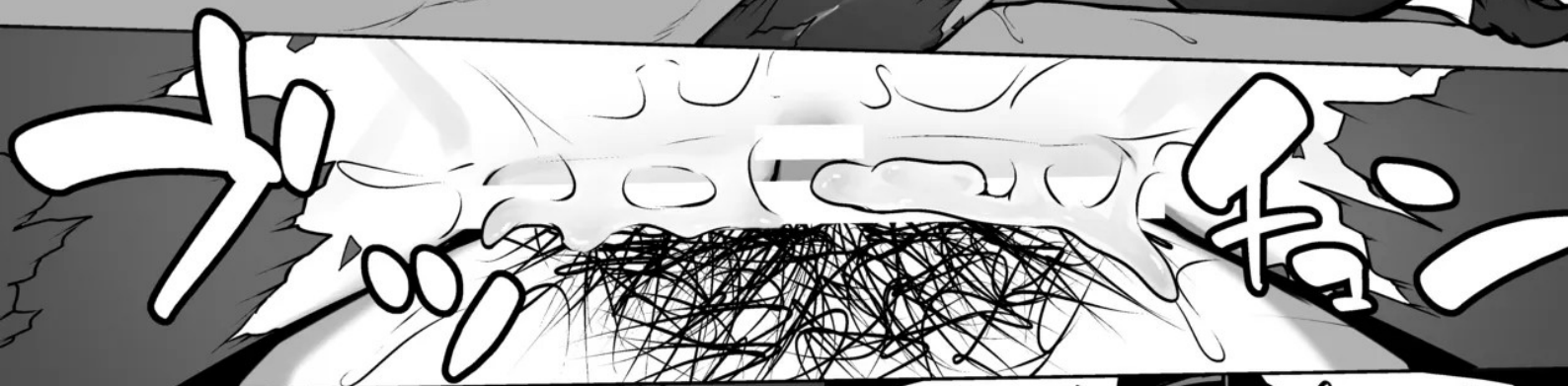
あーあ...♡

すっく

もう人間の娘では
イけなくなっても
ええんじやな♡
それでも
童の腕の中で
砕け散って
しまいたいと
申すのかえ？

それでも
いいです...ッ

どうやら身も心も怪獣^{けだもの}に
成り果せたらしいの♡







あがッ!!

カハハッ♡

情けない声で
鳴きよって♡

全身隈なく
噛み跡を
捺してやるッ

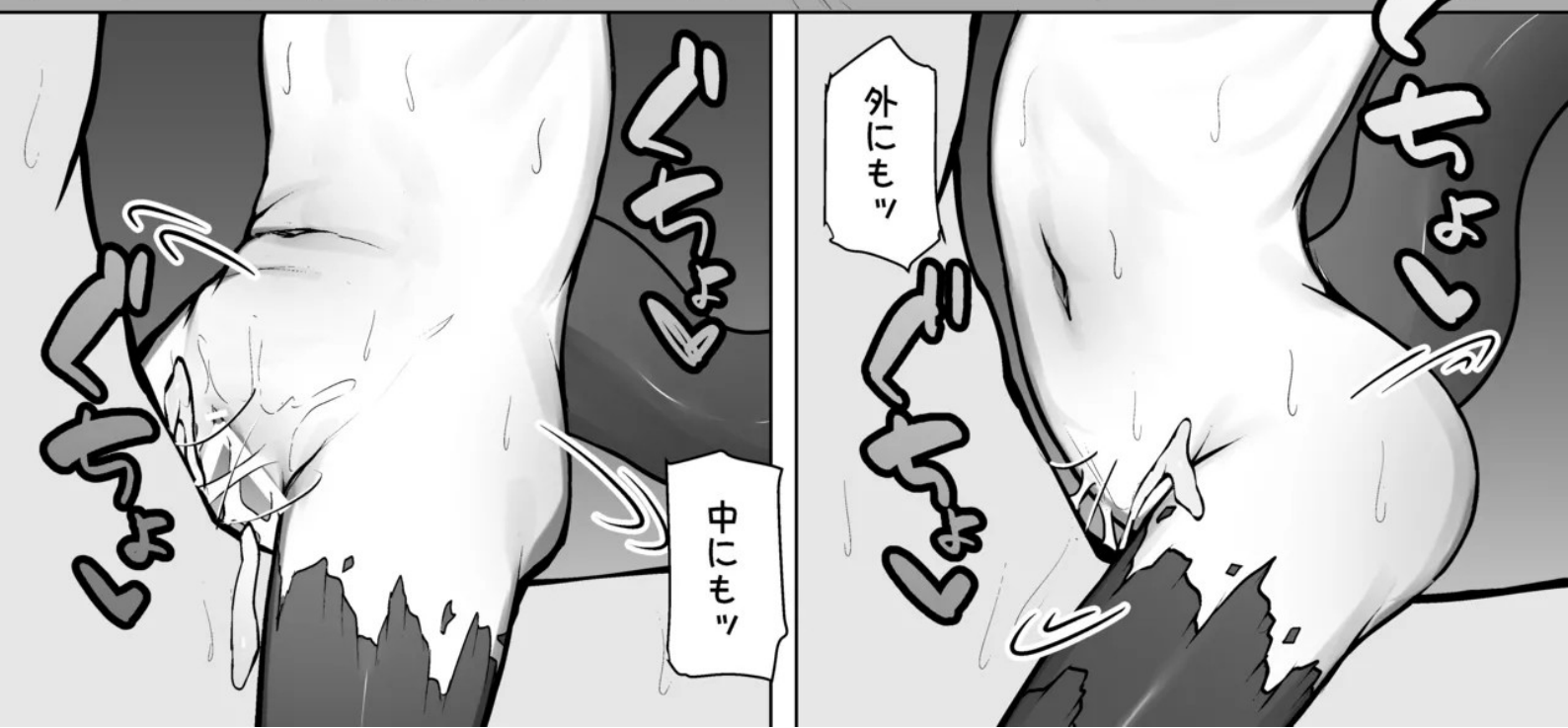
くわっ

くわっ

くわっ

くわっ

んむっ!?



外にもッ

中にもッ



これッ…さっき
射精した分で

おく
子宮が張って
余計に擦れるッ



先っぽの
感覚がッ

へへっ…
わ、童もっ

もう痺れて…っ♡

まるで
肉体の境い目が

はっ♡
はっ♡
無うなった
みたい…♡
じゃろ？



いや...♡

ほんとうに
からだ
肉体の境い目が
無うなっとなる
かもしれぬの♡

うっぐ...

聞いてるじゃろ?

こーんな
いやらしい音
立てよって♡

神様...



きつと膣^{ナカ}内はどろどろに
融け合っておろうよ...♡

グリュ♡
グリュ♡

グリュ♡
グリュ♡



かみさ

童の胎の最奥で
囁いとくれ…♡

ああもう…っ♡
辛抱たまらんわい

まっ…





このままお互い
腕の中に閉じこめて

あの稲妻のなかで
果てようぞ…♡

は、はひっ

あーっ



あーっ♡

あーっ♡

ずーっ
ずっと…っ

可愛がって
やるからの♡

うっ…

神様あつ

あーっ♡

あーっ♡

好きなだけ
甘えてええよあ♡

あーっ♡

あーっ♡



んっ♡

んはっ♡

神様ッ

さっきのが
またくるッ!

どいっ♡

ぽっ♡

おっ♡

おっ♡

ああっ♡

最後の一滴まで
ぜんぶそそげっ♡

童と融合しろっ♡



神様ッ

神様ッ



うん♡
いっしょに
還ろうぞっ♡

はいッ





神様っ…
ごめんなさい

ええよぉ♡

とまなくなつて…っ

ゼーんぶっ
だ
射精ひてえっ…♡

うッ…
またくるッ!





ぽん

びん

どん

びん

ー

ん

チ

リ

チ

ー

チ

チ

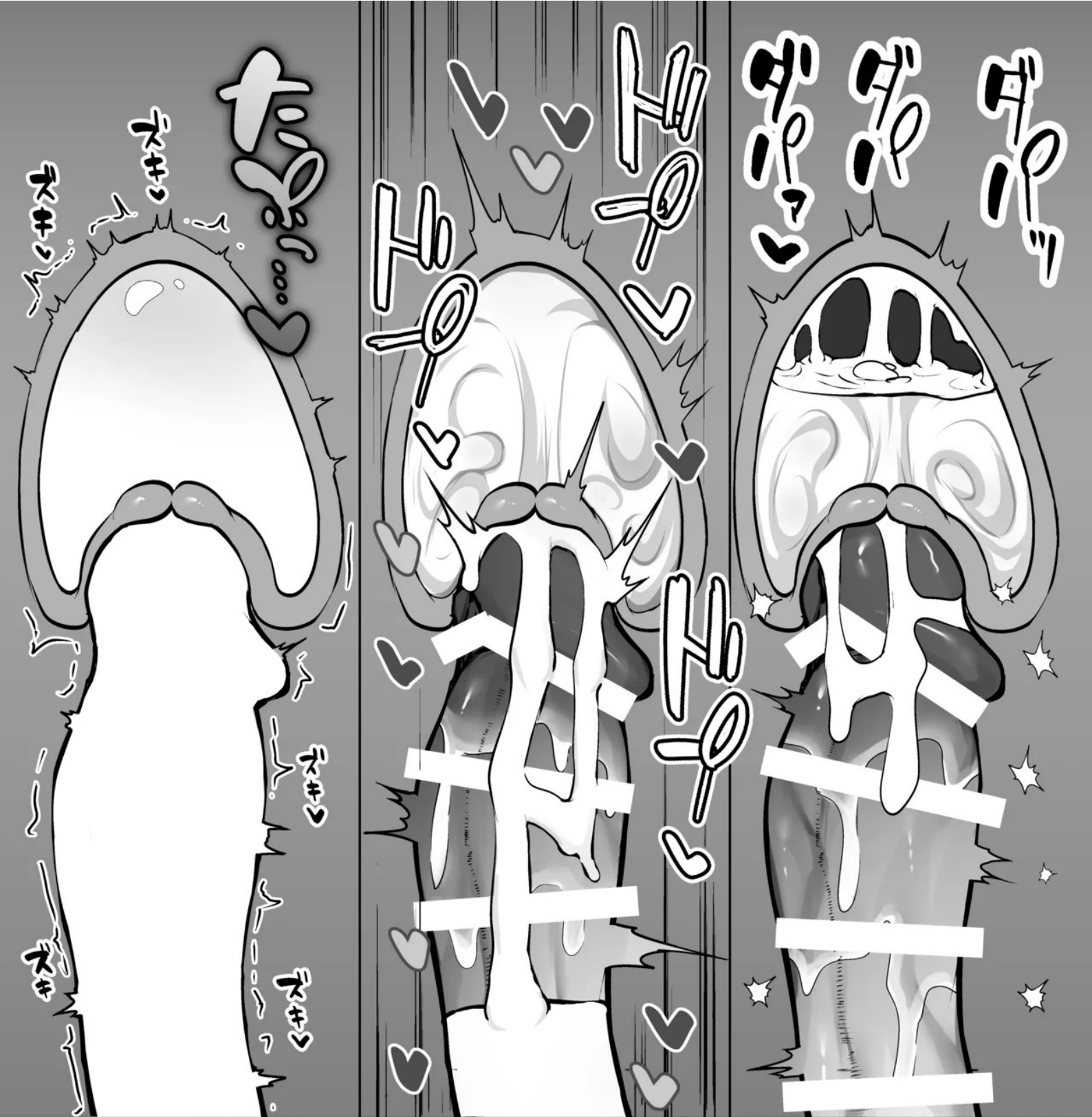
チ

チ

ん

ん

ん





神様…
己やります

藩主の務めを
全うします

ふーん…あっそ
まっ、ええことじゃな

ぐう……



それで…その…

できれば
一緒に
く……
暮らしつ

やれやれ…
かつこよく決まったと
思うたらこれじゃ♡



みことのおおひめ
巳琴大姫

えっあつ
い…今
なんて？



みことの…
おおひめ

おう♡

みこと
巳琴様…

みこと
巳琴様ッ



みこと
巳琴様ッ

ちよっ…嘘っ♡
おわーっ♡



みことのおおひめ
巳琴大姫

ともに暮らすなら
つがいな
伴侶の名ぐらい
覚えんとな♡